

平成2年度 事業報告書

平成2年4月1日から令和3年3月31日

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

1 事業の成果

学校における高度な医療的ケアを担う看護師ネットワーク構築事業として、医療的ケア児の就学支援を継続している。一部自治体においては、委託事業として、継続可能な仕組みを整えた。

「胎児ホットライン」事業立ち上げとして、無料でのウェビナーを複数回開催した。そこを通じて、胎児ホットラインの概念の共有、新規スタッフの募集・採用を行なった。国（厚労省）のNIPT等の出生前検査に関する専門委員会でも度々取り上げられた。すべての人が安心して豊かな社会生活ができるような社会作りを目標に、より多くの人々に当法人の活動を認知される1年となった。

2 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	ホームページ、ウェビナー、動画配信を通して情報提供を行った。新聞、TV、ウェブメディア取材などでの情報発信も行った。	通年	インターネット、新聞・Webメディア・国内外の医療機関・教育機関など	15名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等 3000人/月
(2) 障がいに関するカウンセリング事業	オンラインピアサポートシステム「ゆりかご」の運用。胎児に不安があるときに相談できる窓口「胎児ホットライン」の立ち上げを行った。	通年	インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張	1000名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 100人/月
(3) 胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	医療的ケア児の支援・22q11.2欠失症候群患者家族の交流会などを行った。	通年	学校、インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張	30名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 10人/月